

1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2

70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

中村俊定文庫

文庫 18

1006

9

七福四十三姫の傳

附七
柏十二娘の傳
十五郎の傳





物の見聞

吉田にうるおの裡衣ともあれ

吉良ハ女郎花と云ふ

御手筋の山茶花の花をうたひやうに

四の毛根の花つゝ上を

吉良

吉良山の里つゝ松の二重面

名も角すい俊人され

○三角根

吉良の根りく三枝五色十種皆

吉良も吉良根を植てゆきあり



主阿彌 せんじ

俊名十そに

枯木や三角柏に事例

主阿彌も納につらうせめあ

○玉柏

神代に下界の邪神と絆ほんと
軍は勝負くひを碎けて柏のぬく
スウワクレキ
柏ノトモ云

めくまく

多義集に

○岩戸柏
泥花の薦すうすう玉柏
あられ出たよしも同ひゆ

あ人の多義に墨を柏とよよ
又るに昔の匂いとも又古の
山木ともも又多義集に
石近と云

○唐柏

○鴻臚柏

モク相

むきあひ。相之

下のうセ相之

外:

アカラ相

夏の毛相之

旦の相之

人皮松抄子面朴之

毛毛相底風の経之

ヒトハ石葦の毛と多誠綿之

朴相
柏柏

波向相

貝の名之

橋の草相

毛の草たね毛と以て上

岐の名相

宇都宮相夏ウツタノ相
かづ姫毛リヤ

天の忍足相之とヤ一名大忍足姫とも云
大和の國添上郡佐保川は隣也

佐保姫

狐姫常とヤ同毛多耶歌
彦山:鷺毛

佐田姫

ニ神ノ御事等ノ事の如キ諸事と云ふに
柏初り於シト神ノ佑保川或ハ作保山より
帝廟の事ありて西山のつるを柏木と云ふ
也ヨソシれあり神御ノムトモサ

諸事

柏山姫

カ

ヤ

節草の姫

カ

ヤ

諸事の御事ノ事も吉野の姓之
一女節巡の事ト云ふ

葉室姫

本の姓トモリ神
柏ノ事ト云ふ

後孫

柏木に葉室の神ノ事
ト云ふ

河内神に柏神也
季子曰ち人外の樹モ神モ

鉢

田姫

沖津姫

玉藻姫ノ事ト云々

豊穣姫

玉藻姫ノ事ト云々

○五十鈴姫

子代主の奈つ木姫

諸津姫

天國ち神の恩化ア神と云ふと

豊姫

海女神の女乙姫とも云ふ

山姫

山を守る神、大山姫原

初瀬姫

初瀬の山の神トマラチリとも云ふ

カクヤ姫

竹を守る神月室の玉姫
又竹姫とも云ひ山姫とも云ふ

宇治の山姫

宇治の竹の神又竹姫とも云ふ

玉端姫

笠空主忌山御子の名

マキハヤ姫

消息主忌山御子の天のサク姫も

石野姫

天孫の妹も天孫も神も

山花姫や姫

りの山花も神も

タコシ姫
タコツ姫

松浦

白山姫

三ツバ姫

三津

牛姫

下七姫

町主姫

綿衣ヌ杜吉姫

さくら姫

是知七夕の姫

古七和七姫

是知傳

夢川もれね

實にモレ

猿他見化すあらじとくじとみだれ
のりそ陽に遙え林の風と葉
の風の空をすすめ

附添

十右廊の後

右廊冠者

鈍

右廊

思

右廊

丹波右廊

京右廊

行とも宣焉して
立り

何事生信ヤレキヤト云
惣領子の事云々

りはりや 丹波守郎の御子也
向うへ押島守也京五郎

○毎冬郎

義通集遺ア
名音リ利味人也

そを仰る白鳥毛 柏枝獨り

○安達ち郎

勇氣の山の名ア

○若松ち郎

絶妙能郎の山名ア

○川吉郎

あわらと萬喜吉郎ア

○沼吉郎

ちゆきじゆう

又カツバ又雲也と云





